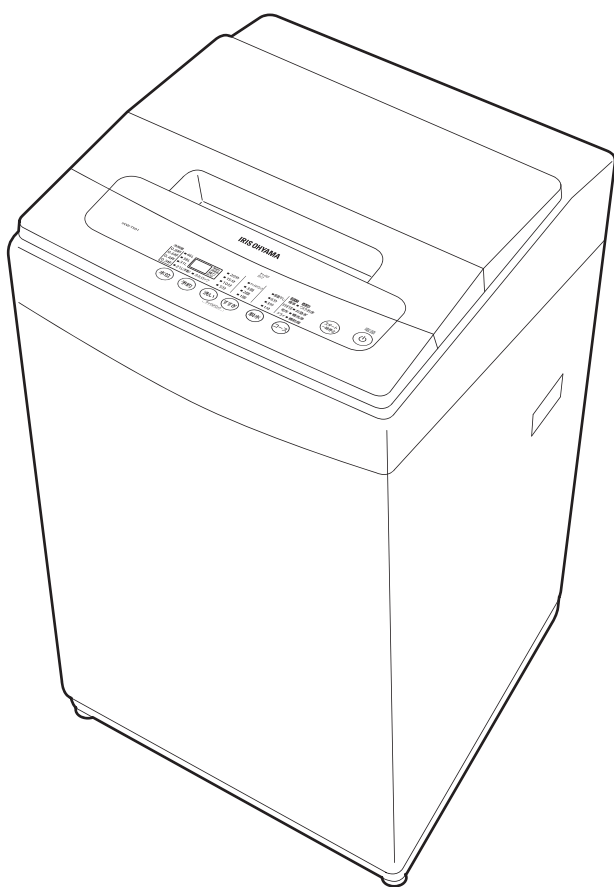


全自動洗濯機

IAW-T502E / IAW-T501

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	4
洗濯物について	6

取り扱いかた

洗濯前の準備	7
洗濯	
標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース....	9
毛布コース	12
ドライコース.....	14
タイマー予約洗濯.....	16
洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する.	17
用途に応じた洗濯.....	19
部屋干しモード.....	20
えりそでクリップボードの使いかた (IAW-T501のみ).....	21
チャイルドロックモード	21
お手入れ	22
コース一覧	25

こんなときには

故障かな?と思ったら	25
長期使用製品について	30
保証とアフターサービス	30
仕様.....	31

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



接触禁止

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物やドラムに絶対に触れないでください。



- ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する
事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 子供に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
- 近くに子供が乗りやすい台などを置かない
- 子供に使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 給水ホースは確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
ねじなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シートなど



- 40℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器につながらない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

使用上の注意

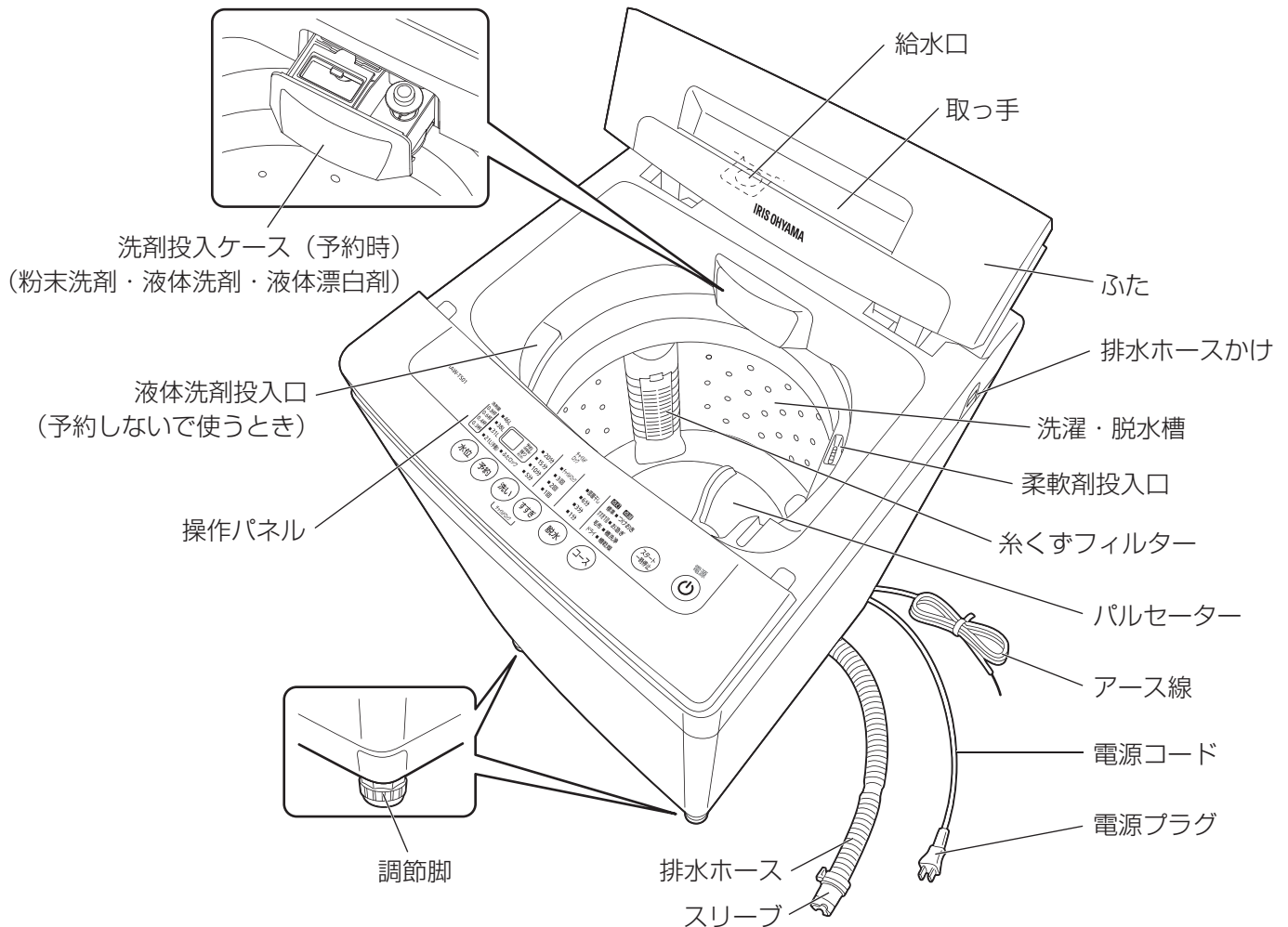
- 本体（特にふたや操作部）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れる事があります。
- 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- 洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- 洗濯物を入れすぎないでください。洗濯物の破損、洗濯機の破損の原因になります。
- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。正常に動作しないことがあります。

- スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を開始した後は、洗い・すすぎ・脱水・コースについては変更できません。水位だけが変更できます。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称



各部の名称 つづき

■操作パネル

水位ランプ・ボタン

ボタンを押して洗濯する水位を選びます。水位とともに、洗剤量の目安を表示します。

洗いランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、洗いの時間を変更することができます。

脱水ランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、脱水時間を変更することができます。

時間表示部

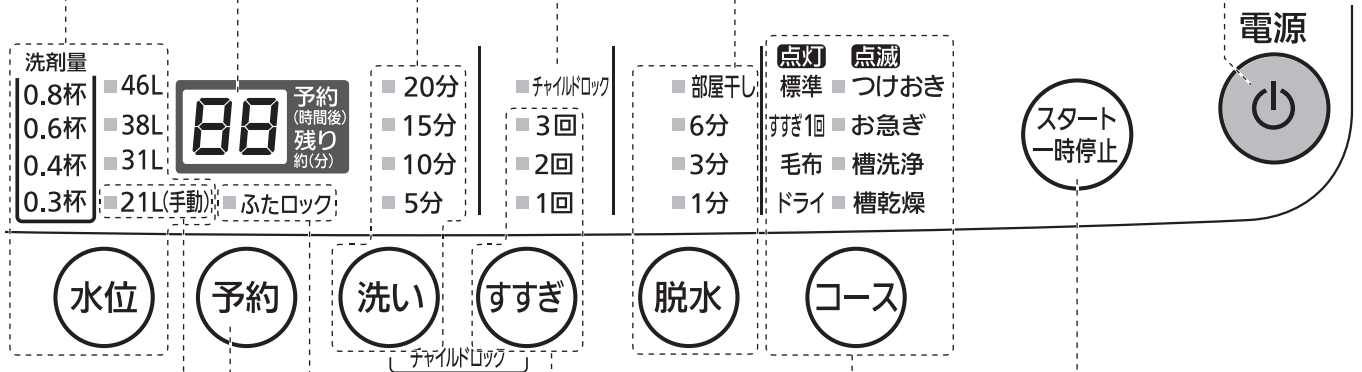
残時間・予約時間・エラーコードを表示します。残時間が100分以上のときは99分表示となります。

チャイルドロックランプ

チャイルドロックモードを入にすると点灯します。

電源ボタン

電源を入・切します。運転終了後は約6秒で電源が切れず。また、電源を入れて約10分間何もしないと、電源が切れます。



水位ボタンで選んだときのみ点灯します。

ふたロックランプ
ふたがロックされているときに点灯します。

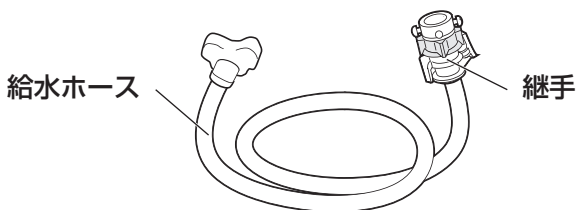
スタート/一時停止ボタン
洗濯を開始するとき、一時停止するときを押します。一時停止すると、ふたロックが解除されます。(脱水時は停止するまで約60秒かかります。)

予約ボタン
ボタンを押して洗濯終了までの時間を設定します。

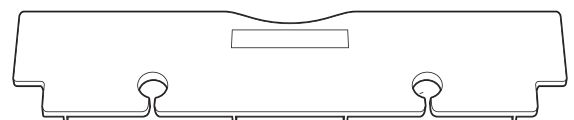
すすぎランプ・ボタン
コースを選んだ後でボタンを押すと、すすぎの回数を変更することができます。

コースランプ・ボタン
洗濯のコースを選びます。ランプの点灯と点滅でコースを表示します。

■付属品



えりそでクリップボード (IAW-T501のみ)





(ふた裏側に収納されています。)

洗濯物について

■洗濯・脱水できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の洗濯絵表示のあるもの

 または  : 家庭での水洗いはできない、
または洗濯処理はできない

 または  : 石油系ドライクリーニング

●取り扱い絵表示や素材表示のないもの

●皮革・毛皮・羽などが使われている製品

●和服・和装小物

●ネクタイ・スーツ・コート

●レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている製品

●絹製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●強撚糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー

●靴

●コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

脱水時、異常振動などの原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

●玄関マット・ラグマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど


■部屋干しモードが使用できないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの

 または  : ドライクリーニング

「弱くしぼる」
などの指示

または  : 弱くしぼるのが良い

 または  : つり干しが良い

「しぼってはいけない」
などの指示

または  : しぼってはいけない

●ゴムやウレタンなどを使用した製品

●わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど

●ウール及びウール混紡製品

●色落ち・色移りしやすいもの

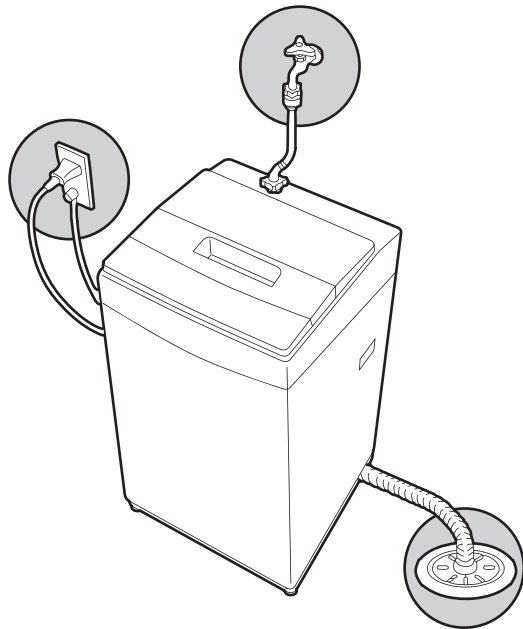
●しわが付きやすい製品

●その他、洗濯・脱水できない製品は、部屋干しモードも使用できません。

洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- アースが接続されているか

排水ホース

- 確実に排水口に取り付けられているか
- 排水が止まらないように高さ10cm以内に収まっているか

給水ホース

- 水栓（蛇口）の接続は、付属のワンタッチ継手を使用しているか
- 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締められているか
- 接続部分に緩みやがたがないか
- 水栓（蛇口）にさびは発生していないか

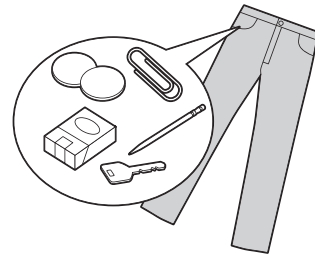
本体

- 水平に設置されているか
- がたつきはないか
- 排水ホースや給水ホース、水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

- 洗濯物の傷みや排水経路のつまりの原因になります。

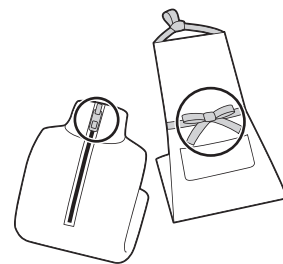


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

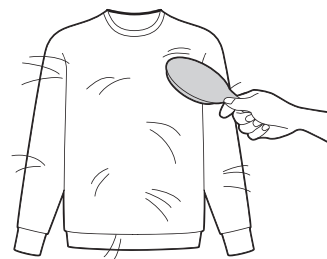
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- 洗濯物がすれたり、絡まったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- 排水経路がつまる原因になります。



起毛素材（コーデュロイなど）・毛玉のつきやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯ネットに入れてください。



洗濯前の準備 つづき

3 洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- ・色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押し付け、色落ちしないか確認してください。
- ・色落ちするものは、色毎に分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと糸くずが目立つものは分ける

- ・タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- ・コーデロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、白いものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯ネットに入れる

- ・レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯ネットに入れて洗ってください。
- ・ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯ネットに入れて洗ってください。

4 洗濯物を入れる

- ・洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準	普段の洗濯	5.0kgまで
すすぎ1回	すすぎ1回用洗剤 におすすめ	5.0kgまで
毛布	毛布を 洗濯する	2.0kgまで
ドライ	ウールなどを 洗濯する	1.5kgまで
つけおき	汚れの多いものを 洗濯する	3.0kgまで
お急ぎ	時間を短縮して 洗濯する	4.5kgまで

※素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。

		
パジャマ上下 (綿) 約500g	スカート (混紡) 約400g	ワイシャツ (混紡) 約200g
		
アンダーシャツ (綿) 約130g	シーツ (綿) 約500g	バスタオル (綿) 約300g
		
タオル (綿) 約70g	ブリーフ (綿) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

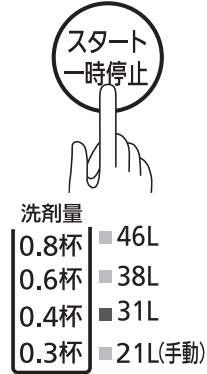
- ・重いものや水に浮きやすいものから先に入れてください。
- ・水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみこませてください。
- ・水に浮きやすい衣類は次のようなものです。
**表地や裏地が化繊100%のジャンパーなど
フリースなど化繊100%、または混紡の衣類**
- ・洗濯ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒にに入れてください。
- ・洗濯ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。

1 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる



3 スタート／一時停止ボタンを押す

- 洗濯がスタートすると、パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤量の目安を表示します。



- 給水が始まります。

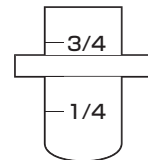
水位を変更するとき

- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。また、濡れた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。
- このようなときは、給水中に水位ボタンで設定を変更してください。



4 表示にしたがって、洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤を入れる

- 洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで、表示された量を目安に入れてください。



2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します

点灯 標準 ■	標準	通常はこのコースを選んでください。
点灯 すすぎ1回 ■	すすぎ1回	シャワーすすぎ1回、ためすすぎ1回にした節水のコースです。
点灯 毛布 ■	毛布	毛布洗い用のコースです。
点灯 ドライ ■	ドライ	パルセーターをほとんど回転させず、ソフトに洗います。セーターなどの洗濯に使用します。
点滅 つけおき ■	つけおき	標準のコースの前に、パルセーターの回転を止めてつけ置き洗いする行程を組み合わせたコースです。
点滅 お急ぎ ■	お急ぎ	すすぎ1回にした短時間コースです。
点滅 槽洗浄 ■	槽洗浄	お手入れで槽洗浄するときのコースです。
点滅 槽乾燥 ■	槽乾燥	お手入れで槽乾燥するときのコースです。

- ※毛布コースで洗濯するときは、12ページをご覧ください。
- ※ドライコースで洗濯するときは、14ページをご覧ください。
- ※槽洗浄・槽乾燥コースを使用するときは、23～24ページをご覧ください。

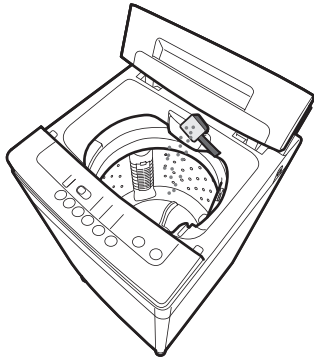
洗濯

標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース つづき

洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤の入れかた

粉末合成洗剤

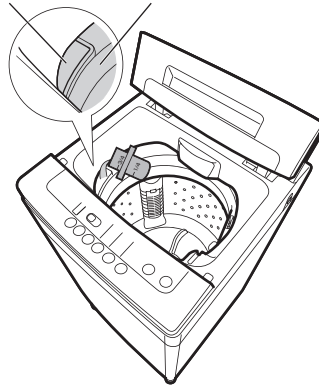
- ・ 給水時の水に少しずつ溶かしながら、洗濯・脱水槽に入れます。



液体洗剤・液体中性洗剤

- ・ 洗剤投入口へ入れてください。給水に伴い水に溶けます。
- ※ 洗剤投入口の位置は、洗濯脱水槽の回転によって変わります。

洗剤投入口 洗濯脱水槽



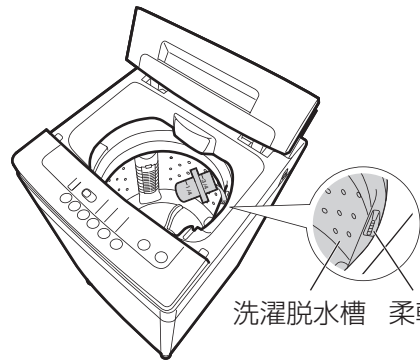
粉石けん

- ・ あらかじめ洗剤を溶かした洗剤液を作って、給水が始まる前に洗濯・脱水槽に入れてください。30℃くらいのぬるま湯約5Lを用意し、かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れます。
- ※ 給水が始まってしまったときは、**スタート/一時停止**ボタンを押して、一時停止してください。洗剤液を入れたら、再度**スタート/一時停止**ボタンを押して洗濯を再開します。



柔軟仕上げ剤

- ・ **柔軟剤**と表示された投入口に入れてください。
- ※ 種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。
- ※ 少量の水と混ぜると固まるものがあります。柔軟仕上げ剤の説明にしがってください。
- ※ **柔軟剤**投入口の位置は、洗濯脱水槽の回転によって変わります。



洗濯脱水槽 柔軟剤投入口

・ 計量キャップ・計量スプーンが付いてないときは、以下の表を目安にして入れてください。

水位	合成洗剤		粉石けん	柔軟仕上げ剤	
	粉末洗剤 (g) 液体洗剤 (mL)	液体中性洗剤		一般タイプ	濃縮タイプ
46L	約31g (mL)	約61g	約55g	約31mL	約11mL
38L	約25g (mL)	約51g	約46g	約25mL	約9mL
31L	約21g (mL)	約41g	約37g	約21mL	約7mL
21L	約14g (mL)	約28g	約25g	約14mL	約5mL

※ **お急ぎ**コースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

● 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

漂白剤の入れかた

粉末漂白剤

- ・ 給水時の水に少しずつ溶かしながら、洗濯・脱水槽に入れます。(洗剤と同時に)

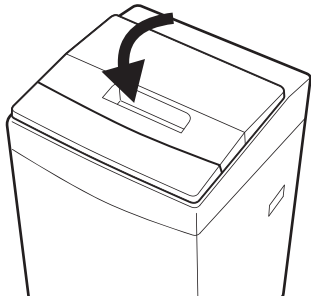
液体漂白剤

- ・ 洗剤と同時に洗剤投入口に入れてください。

※ 漂白剤の量は、漂白剤の説明にしがってください。

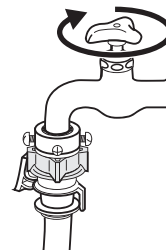
5 ふたを閉める

- 給水が終わった後、洗いの行程が始まるとふたロックがかかります。給水終了時にふたが閉まってないと洗濯は一時停止します。



6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P22)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。



ふたロックについて

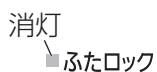
- 洗濯中は、給水が終わって洗いの行程が始まると、終了までふたロックがかかります。ふたロック中は、**ふたロックランプ**が点灯します。



- 洗濯の途中で電源を切るとふたロックは解除されます。停電したときは、再び電源を入れるとふたロックは解除されます。

ふたロックの解除

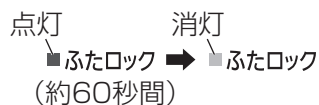
- 洗濯の行程がすべて終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。



- 洗濯の途中でふたロックを解除するには、**スタート/一時停止**ボタンを押してください。**ふたロックランプ**が消灯し、ふたロックが解除されます。



- 脱水の途中で**スタート/一時停止**ボタンを押したときは、安全のため、約60秒経ってから**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。



洗濯 毛布コース

1 洗濯物を確認する

- 毛布コースで洗える洗濯物の量は、2.0kgまでです。
- 水位は46Lになり、他の設定は選べません。
- 毛布を洗う場合は、1回の洗濯につき1枚のみ、重さ2.0kgまでにしてください。

洗えるもの

- ・毛布

 または  の表示があるもの

 または  の表示のあるもの

種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布
大きさ：シングルサイズ（140×200cm）
重さ：2.0kg以下

- ・カーペットカバー
- ・ベッドパッド
- ・カーテン

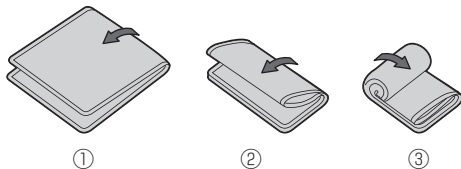
※洗える電気毛布は電気毛布の説明にしたがってください。

洗えないもの

- ・毛100%の毛布・カーペットカバー
- ・防水性のあるもの
- ・化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- ・電気毛布・電気マット

2 洗濯物を折りたたむ

- ・折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・長い方を四つまたは八つに折り、短い方に巻いてください。毛布洗い用洗濯ネットに入れる洗濯物は、できるだけ高さを低くするように折ってください。



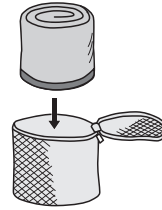
- ・マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。
- ・次の洗濯物は、必ず毛布洗い用洗濯ネットに入れてください。

毛布、

布の傷みが気になるもの

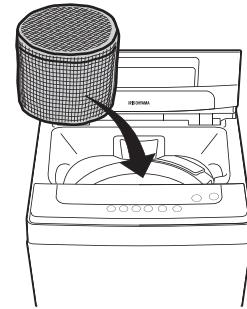
- ※毛布洗い用洗濯ネットに入れずに洗うと、洗濯物を傷めるおそれがあります。
- ※毛足の長いものや厚みのあるものなど、毛布洗い用洗濯ネットに入らないときは洗濯できません。

- ・縁のある方を下になるようにネットに入れ、ファスナーを閉めてください。



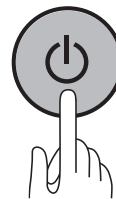
3 洗濯物を入れる

- ・ファスナーを上側にして入れてください。



4 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる

電源



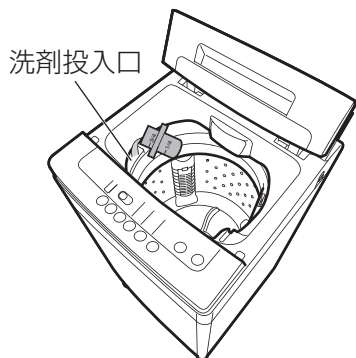
5 コースボタンで毛布コースを選ぶ

点灯
毛布 ■

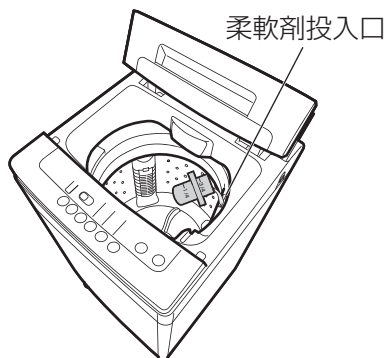


6 洗濯用洗剤を洗剤投入口に、柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口に入れる

- 毛布コースでは、先に洗剤を溶かす必要があります。洗濯物を入れる前に洗剤を入れ、給水してください。
- 毛布コースの水位は46Lで、他は選べません。
- 46Lの水位に合わせた量の洗濯用洗剤を入れてください。



- 柔軟仕上げ剤も46Lの水位に合わせた量を、柔軟剤投入口に入れてください。



- 毛布の洗濯には漂白剤は使用しないでください。



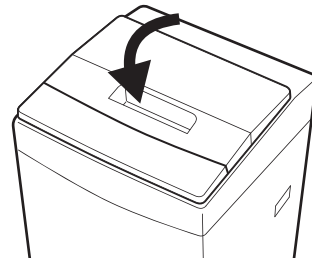
7 スタート／一時停止ボタンを押す

- 給水が始まります



8 ふたを閉める

- 洗いの行程が始まるとふたロックがかかります。
- ふたが閉まってないと洗濯は一時停止します。



9 終了したら、毛布洗い用洗濯ネットのファスナーを開けて、毛布を取り出す

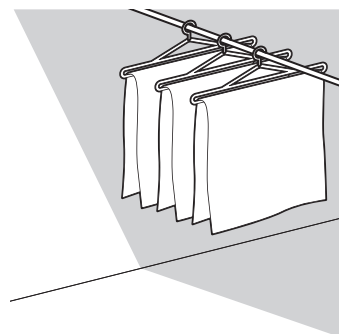
- 洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- ファスナーを開けて、先に毛布だけを取り出してください。



- 毛布洗い用洗濯ネットを取り出した後は、糸くずフィルターを外して掃除してください。



- 毛布などは、風通しの良い直射日光の当たらないところで乾かしてください。



1 洗濯物を確認する

- ドライコースで洗える洗濯物の量は、1.5kgまでです。
- 水位は38Lになり、他の設定は選べません。

洗えるもの

 または  の表示があるもの

 または  の表示のあるもの

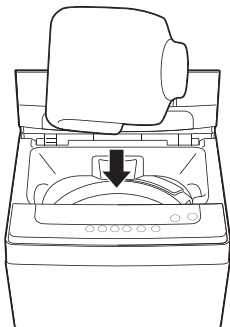
- ・ウール・アンゴラ・カシミアのセーター・カーディガンなど
- ・スラックス・スカート・学生服類
- ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類

洗えないもの

- ・水につけると、型くずれ・縮み・風合いの低下を起ししやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形崩れしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・水に浮いてしまうもの
- ・防水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

2 洗濯物を入れる

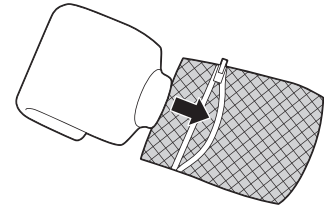
- ・入れる前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・衣類は洗濯・脱水槽に入る大きさに折りたたみ、洗濯・脱水槽の底に平らに入れてください。



- ・デリケートな衣類は洗濯ネットに入れてください。
- ・ネットに入れたセーターなどは、汚れている方を下にしてください。

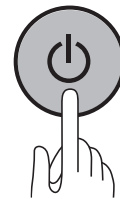
洗濯ネットへの入れかた

- ・1枚ずつ、市販の目の粗い洗濯ネットに入れてください。
- ・衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



3 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる

電源



4 コースボタンでドライコースを選ぶ

点灯
ドライ



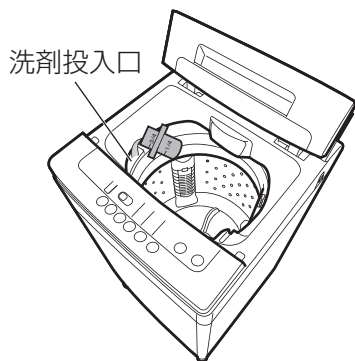
5 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・給水が始まります。

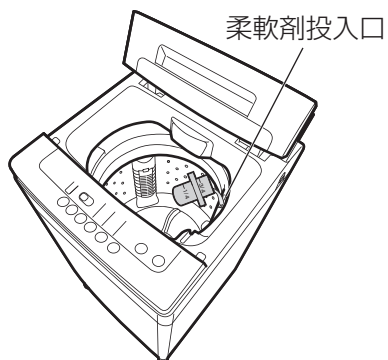


6 洗濯用洗剤を洗剤投入口に、柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口に入れる

- ドライコースでは、洗濯用液体中性洗剤を使用してください。
- ドライコースの水位は**38L**で、他は選べません。38Lの水位に合わせた量の洗濯用液体中性洗剤を入れてください。



- 柔軟仕上げ剤も38Lの水位に合わせた量を、**柔軟剤投入口**に入れてください。

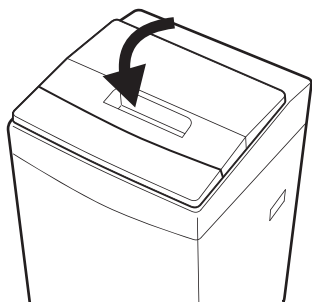


- **ドライコース**では、漂白剤は使用しないでください。



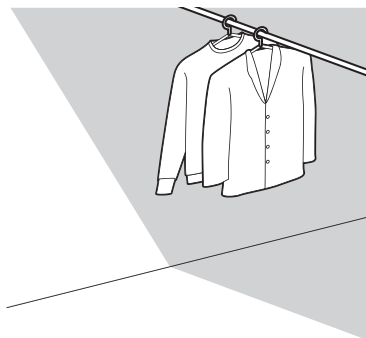
7 ふたを閉める

- 給水が終了して洗いの行程が始まると、**ふたロックランプ**が点灯して、ふたロックがかかります。

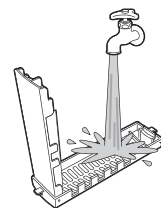


8 終了したら、洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯してふたロックは解除されます。
- 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しの良い直射日光の当たらないところで乾かしてください。



- 洗濯物を取り出した後は、糸くずフィルターを外して掃除してください。



洗濯の終了時間を予約して洗濯することができます。

1 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる

2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。
- ※ **ドライ・槽洗浄**のコースでは、予約はできません。

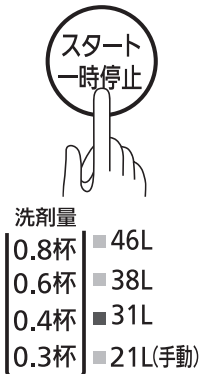
3 予約ボタンで洗濯の終了時間を設定する

- 予約ボタンを押すたびに、洗濯終了時間の表示が **1 ~ 24** に変わります。



4 スタート／一時停止ボタンを押す

- パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤の量を表示します

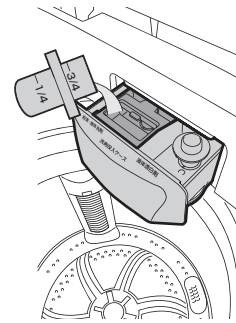


水位を変更するとき

- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。このようなときは、給水中に**水位**ボタンで設定を変更してください。

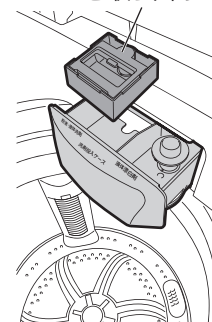


5 表示にしたがって、洗剤投入ケースに洗濯用洗剤を、柔軟剤投入口に柔軟仕上げ剤を入れる



- 液体洗剤を入れるときは、洗剤投入ケース内の**液体洗剤用ケース**を付けたまま入れてください。
- 粉末洗剤を入れるときは、洗剤投入ケースから、**液体洗剤用ケース**を取り外してから入れてください。

液体洗剤用ケースを取り外す

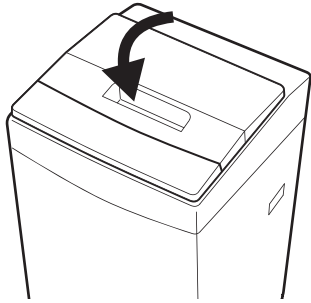


- 必要に応じて、漂白剤を入れてください。漂白剤は洗剤投入ケースの**液体漂白剤側**に入れてください。
- 漂白剤の量は、漂白剤の説明にしたがってください。
- ※ 粉石けんは使用しないでください。溶けにくいので、衣類に洗剤が残るおそれがあります。
- ※ **お急ぎ**コースで選択するときは、洗剤の量を半分にしてください。

- 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。
- 洗剤投入ケースが十分乾いていることを確認してください。ぬれていると、洗剤が固まってしまうことがあります。

6 ふたを閉める

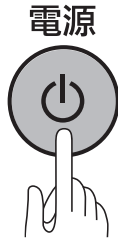
- ふたを閉めると、運転が開始されるまでの間、予約時間が点滅表示され、水位ランプが点灯します。



- 予約ボタンを押すと、押している間、予約内容が表示されます。

予約を取り消すには

- 電源ボタンを押して、電源を切にしてください。



予約を変更するには

- 電源を切って、再度入れ直し、設定し直してください。

運転開始時間になると

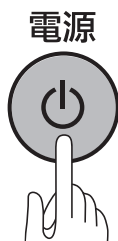
- 予約した時間に終わるように、設定された時間になると給水が始まり、洗いの行程が始まるとふたロックがかかります。ふたが閉まってないと洗濯は一時停止します。

7 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P22)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯 洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する

1 電源ボタンを押して電源を入れる



※ 必要に応じて水栓を開けてください。

2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。



※ 通常は標準コースを選んでください。標準以外のコースでは、設定できないものがあります。

3 洗いの時間を選択する

- 洗いボタンを押すたびに、洗いの時間が次のように変わります。



→ 5分 → 10分 → 15分(標準) → 20分 ←
消灯(洗い行程なし)

- 洗いの行程のみの場合は、最後に排水しません。

4 すすぎの回数を選択する

- すすぎボタンを押すたびに、すすぎの回数が次のように変わります。



→ 1回 → 2回(標準) → 3回
消灯(すすぎ行程なし) ←

- 洗いの行程がない場合は、最初に脱水から始まります。
- 脱水の行程がない場合は、最後に排水しません。

5 脱水の時間を選択する

- 脱水ボタンを押すたびに、脱水時間が次のように変わります。



→ 1分 → 3分 → 6分(標準) → 6分+部屋干し
消灯(脱水行程なし) ←

- 次のコースを選んだときは、脱水は自動的に決まった時間に設定され、変更できません。

お急ぎ：脱水3分

槽洗浄：脱水1分

槽乾燥：脱水6分

6 スタート／一時停止ボタンを押す

- 給水が始まります。



- 洗濯の行程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。

水位を変更するとき

- 水位はあらかじめ設定されています。水位を変更するときは、給水中に**水位**ボタンで設定を変更してください。

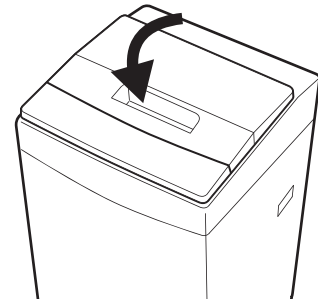


7 表示にしたがって、洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤を入れる

- 必要に応じて漂白剤を入れてください。漂白剤の量は、漂白剤の説明にしたがってください。
- ※ **お急ぎ**コースで選択するときは、洗剤の量を半分にしてください。
- ※ 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

8 ふたを閉める

- 給水が終わった後、洗いの行程が始まるとふたロックがかかります。給水終了時にふたが閉まってないと洗濯は一時停止します。



9 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P22)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

用途に応じた洗濯

用途・目的	行程	洗いの設定	すすぎの設定	脱水の設定	備考
<ul style="list-style-type: none"> 洗濯液を再利用する あらかじめ洗剤を溶かす 	洗いのみ	あり	なし	なし	最後に排水しません。
<ul style="list-style-type: none"> すすぎ水を再利用する 	洗いとすすぎ	あり	あり	なし	最後に排水しないので、すすぎ水を再利用できます。再利用するときは、排水してしまわないように、洗いから始めてください。
<ul style="list-style-type: none"> 分け洗いをする 	洗いと脱水	あり	なし	あり	分け洗いした洗濯物は、この後まとめてすすぎをするので、脱水時間は短めにしてください。
<ul style="list-style-type: none"> すすぎをする 	すすぎのみ	なし	あり	なし	最初は脱水から始まります。最初に脱水したくない場合は、洗いから始めてください。最後に排水しません
<ul style="list-style-type: none"> すすぎ～脱水をする 	すすぎと脱水	なし	あり	あり	最初は脱水から始まります。最初に脱水したくない場合は、洗いから始めてください。
<ul style="list-style-type: none"> 脱水する 	脱水のみ	なし	なし	あり	排水から始まります。
<ul style="list-style-type: none"> 排水する 	排水のみ	なし	なし	あり	排水が終了したら、脱水が始まる前に電源を切る

※ 最後に**部屋干しモード**を使用するときは「部屋干しモード」(P20)をご覧ください。

部屋干しモード

部屋干しモードは、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

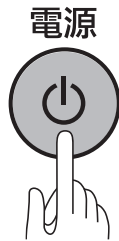
※ 部屋干しモードは温風乾燥ではありません。完全には乾かず、風で乾燥させるため、部屋干しモード使用後の洗濯物は冷たく感じる場合があります。

※ 洗濯物の量が多いと、しわがつきやすくなります。しわの取れにくい衣類は部屋干しモードを使用しないでください。

※ フリースなどの軽い衣類は、槽外へ飛び出すことがあります。故障・破損の原因になるので、注意して扱ってください。

※ 「洗い→すすぎ→脱水→部屋干しモード」の自動運転を設定する場合はP17、18を参照してください。

1 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる



2 コースを選ぶ

・ コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。



※ ドライ・お急ぎ・槽洗浄・槽乾燥コースでは、部屋干しモードは使用できません。

3 脱水ボタンを押して部屋干しを選ぶ

・ 脱水ボタンを押すたびに、脱水時間が次のように変わります。



1分 → 3分 → 6分(標準) → 6分+部屋干し
消灯(脱水行程なし) ←

・ 部屋干しを選んだときは、脱水の6分も点灯します。

4 スタート／一時停止ボタンを押す

・ 洗濯が始まります。表示にしたがって、洗濯用洗剤・漂白剤・柔軟仕上げ剤を投入後、ふたを閉めてください。



・ 6分間の脱水の終了後、約60分、部屋干しモード運転します。

5 部屋干しモード運転が終了したら、洗濯物を取り出す

・ 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P22)

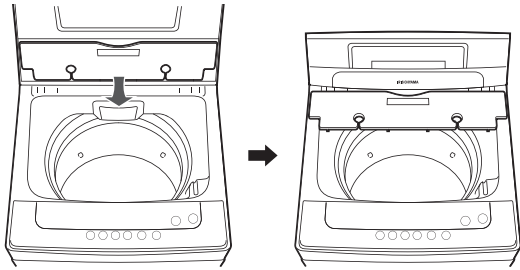
・ 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

・ 合計の運転時間が100分以上のときは、残時間表示は99分となります。98分以降から通常どおり、残時間を表示します。

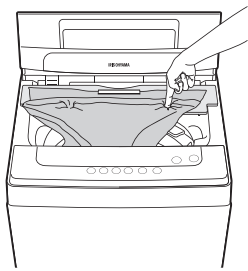
えりそでクリップボードの使いかた (IAW-T501のみ)

えり・そで・すそなど汚れやすく落ちにくい部分は、洗濯前に液体洗剤などを塗りつけておくと効果的です。えりそでクリップボードは、シャツなどの衣料をはさんで保持し、洗濯機の上で洗剤の塗りつけなどを行って、そのまま洗濯・脱水槽に入れることができます。

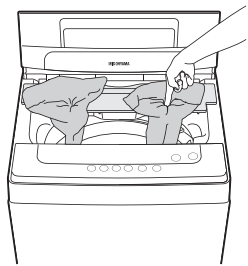
1 ふたの裏側からえりそでクリップボードを取り出し、洗濯・脱水槽の上に設置する



2 洗濯物をえりそでクリップボードの上に広げ、えりそでクリップボードの切り欠き部にあたる部分を押し込んで支える

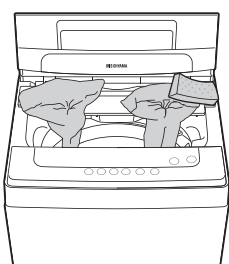


- ・ワイシャツのそで口などは、そでを切り欠き部に挟み込み、そで口を広げるようにしてください。



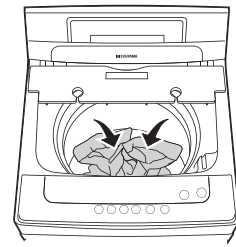
3 液体洗剤・部分洗い用洗剤などを、汚れている部分に塗り込む

- ・スポンジまたは柔らかい不要な歯ブラシなどを使用して、汚れている部分にまんべんなく塗り込んでください。



4 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れ、洗濯する

- ・えりそでクリップボードから洗濯物を外し、そのまま洗濯・脱水槽に投入します。
- ・えりそでクリップボードはふたの裏側に戻してください。
- ・スタート／一時停止ボタンを押して、通常通り洗濯をしてください。



※ 洗剤がえりそでクリップボードに付着したときは、すぐに水拭きしてください。変色することがあります。

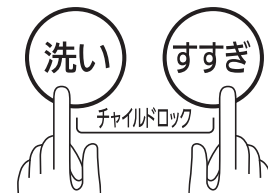
チャイルドロックモード

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを入にすることができます。

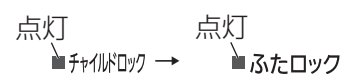
チャイルドロックモードを入にすると、電源が入になっている間、ふたロックが自動でかかります。

■チャイルドロックモードを入／切するには

- ・電源が入っているときに、洗いボタンとすすぎボタンを同時に押すと、チャイルドロックモードの入／切を切り替えることができます。



- ・チャイルドロックモードが入になると、チャイルドロックランプが点灯し、ふたロックがかかります。



- ・チャイルドロックモードを切にすると、チャイルドロックランプは消灯します。



- ・洗濯が終了し電源が切れると、チャイルドロックモードは切になります。

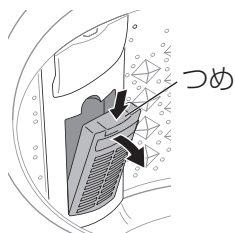
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

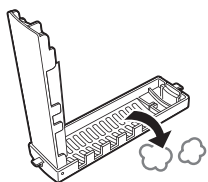
■糸くずフィルター

洗濯後毎回お手入れしてください。

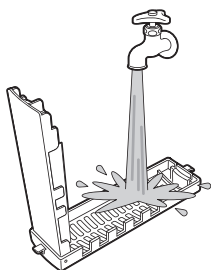
- 1 フィルターケースのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す



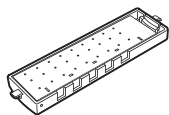
- 2 フィルターカバーを開け、糸くずを取り除く



- 3 水洗いする

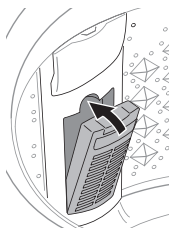


- 4 フィルターカバーをしっかりと閉じる



- 5 元どおりフィルターケースを取り付ける

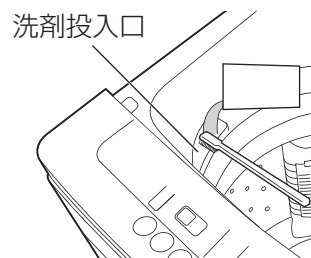
- ・フィルターケース下端を差し込み、上部をカチッとまで押し込んでください。



■洗剤・柔軟剤投入口

汚れているときはお手入れしてください。

不要な歯ブラシなどでこすりながら、水をかけて流す

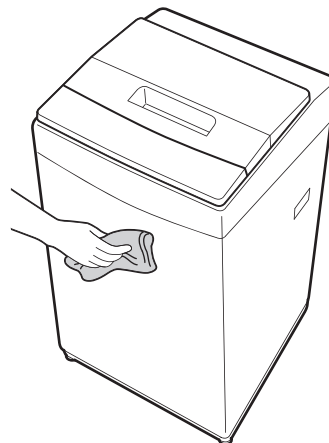


■本体外側

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

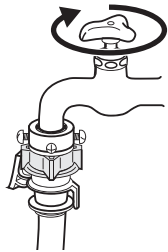
※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



■ 給水口

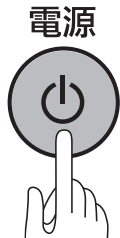
給水口にゴミが詰まると、給水時間が長くなったり、給水ができずに洗濯機がエラーになったりします。これらのときは、給水口をお手入れしてください。

1 水栓を閉じる



2 給水ホースの水抜きをする

① 電源ボタンを押して電源を入れる



② コースボタンで槽洗浄コースを選ぶ

点滅
槽洗浄



③ スタート／一時停止ボタンを押す
・約1分間運転してください。



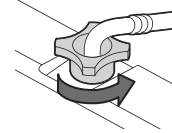
④ スタート／一時停止ボタンを押して運転を停止する



⑤ 電源ボタンを押して電源を切る

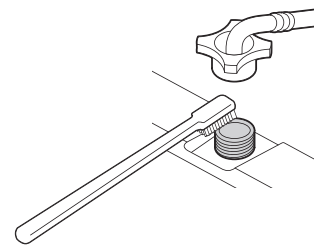
3 給水ホースのナットを回してゆるめ、給水ホースを外す

※ 給水ホース内の残水がたれてくることがあるので、注意してください。



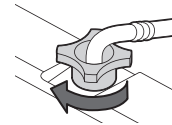
4 給水口のフィルターにたまったゴミを取り除く

・ 不要な歯ブラシなどを使用して、ゴミを取り除いてください。



5 給水ホースを元どおり取り付け

・ ナットをしっかりと回して取り付けてください。



■ 洗濯・脱水槽（槽洗浄）



注意

- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽洗浄を行ってください。

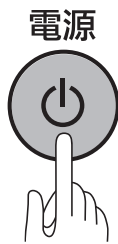
槽洗浄用クリーナーについて

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤を使用してください。
 - ・ 汚れがひどいときは、市販の槽洗浄用クリーナー（塩素系）を使用してください。
 - ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- 塩素系漂白剤は、表示がない場合は、約300mL使用してください。

つづく→

お手入れ つづき

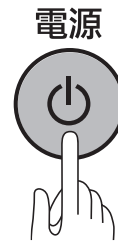
- 1 水栓を開け、電源ボタンを押して電源を入れる



■洗濯・脱水槽（槽乾燥）

洗濯終了後に槽乾燥をすると、かびの発生をおさえることができます。

- 1 電源ボタンを押して電源を入れる



- 2 コースボタンで槽洗浄を選ぶ

・水位は46Lになり、他は選べません。

点滅
槽洗浄



- 2 コースボタンで槽乾燥を選ぶ

点滅
槽乾燥



- 3 スタート／一時停止ボタンを押す



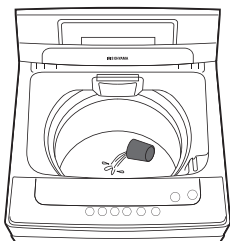
・つけおき+洗いで23分、すすぎ1回、脱水1分で洗浄を行います。

- 3 スタート／一時停止ボタンを押す

・洗濯・脱水槽とパルセーターが高速で回転し、洗濯・脱水槽を乾燥させます。



- 4 給水が開始されたら、塩素系漂白剤または槽洗浄用クリーナーを、直接洗濯・脱水槽に入れ、ふたを閉める



※ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

- 5 槽洗浄が終了し脱水が止まったら、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

※ 糸くずフィルターに、洗剤かすなどのごみがたまります。そのままにしておくと、洗濯物にごみが付くことがあるので、必ずお手入れしてください。

コース一覧

コース	ランプ	水位	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	部屋干しモード	所要時間
標準	点灯 標準	21 ~ 46L	-	15分	2回	6分	60分	43 ~ 54分*1
すすぎ1回	点灯 すすぎ1回	21 ~ 46L	-	15分	1回	6分	60分	38 ~ 45分*1
毛布	点灯 毛布	46L	-	15分	2回	6分	60分	54分*1
ドライ	点灯 ドライ	38L	-	10分	2回	3分	-	43分
つけおき	点滅 つけおき	21 ~ 46L	30分	15分	2回	6分	60分	73 ~ 84分*1
お急ぎ	点滅 お急ぎ	21 ~ 46L	-	5分	1回	3分	-	21 ~ 28分
槽洗浄	点滅 槽洗浄	46L	20分	3分	1回	1分	-	41分
槽乾燥	点滅 槽乾燥	-	-	-	-	13分	-	16分

※ 洗い・脱水の時間、所要時間は目安です。

※ 所要時間は、給水（15L / 分で計算）・排水の時間が含まれます。

※ 水位の21Lは、水位ボタンで選んだときのみ設定できます。

※ つけおき中は、ときどきパルセーターが回転します。

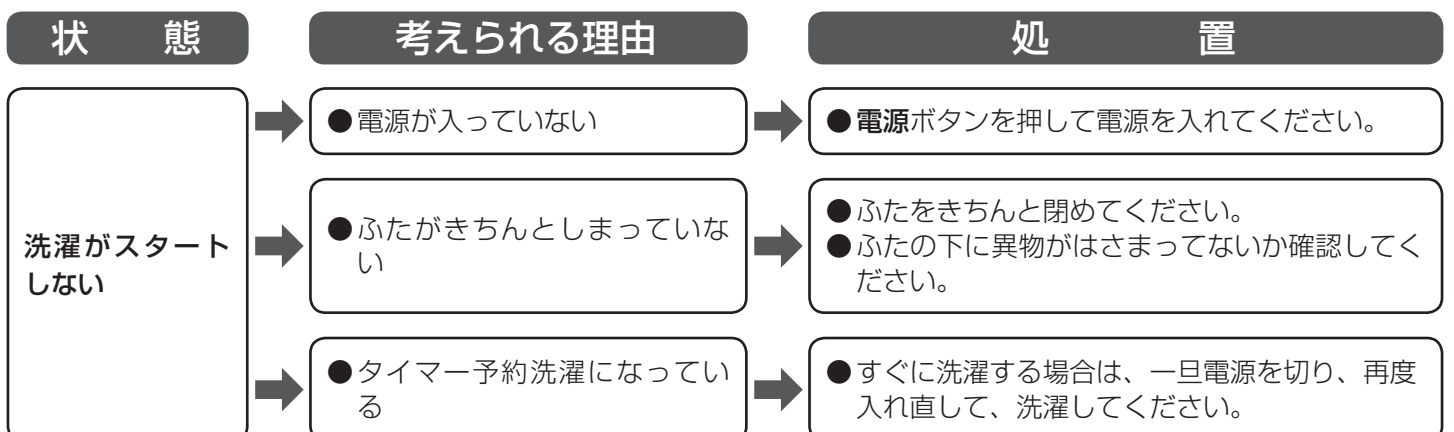
※ 洗い・すすぎ・脱水の時間は、それぞれのコースの標準設定です。洗い・すすぎ・脱水のボタンで変更できます。（コースによっては変更できないものもあります。）

※ 部屋干しモードは脱水ボタンで部屋干しを選んだときのみ運転します。（→P20）

※ 1 所要時間は部屋干しモードの時間を含みません。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

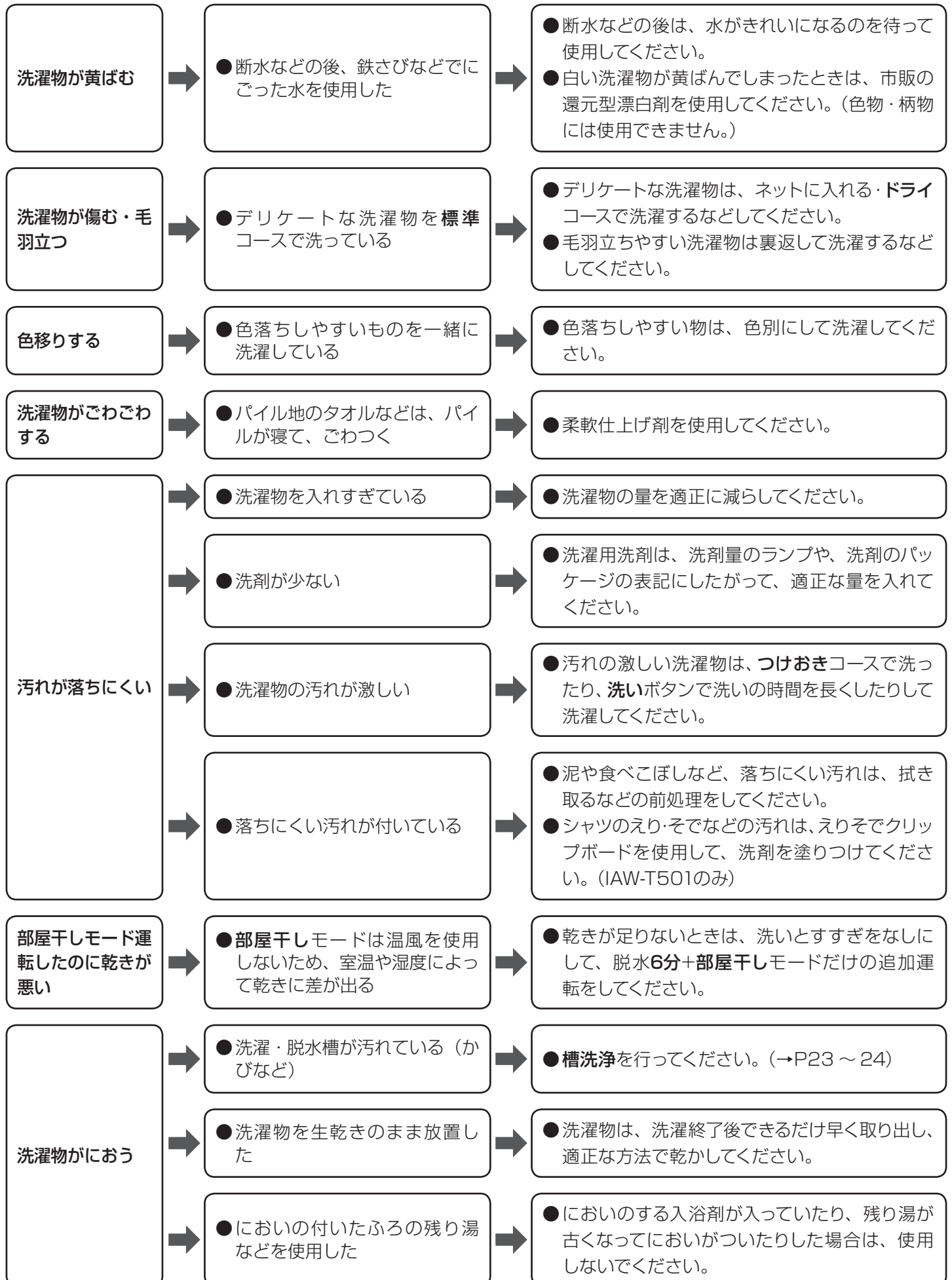


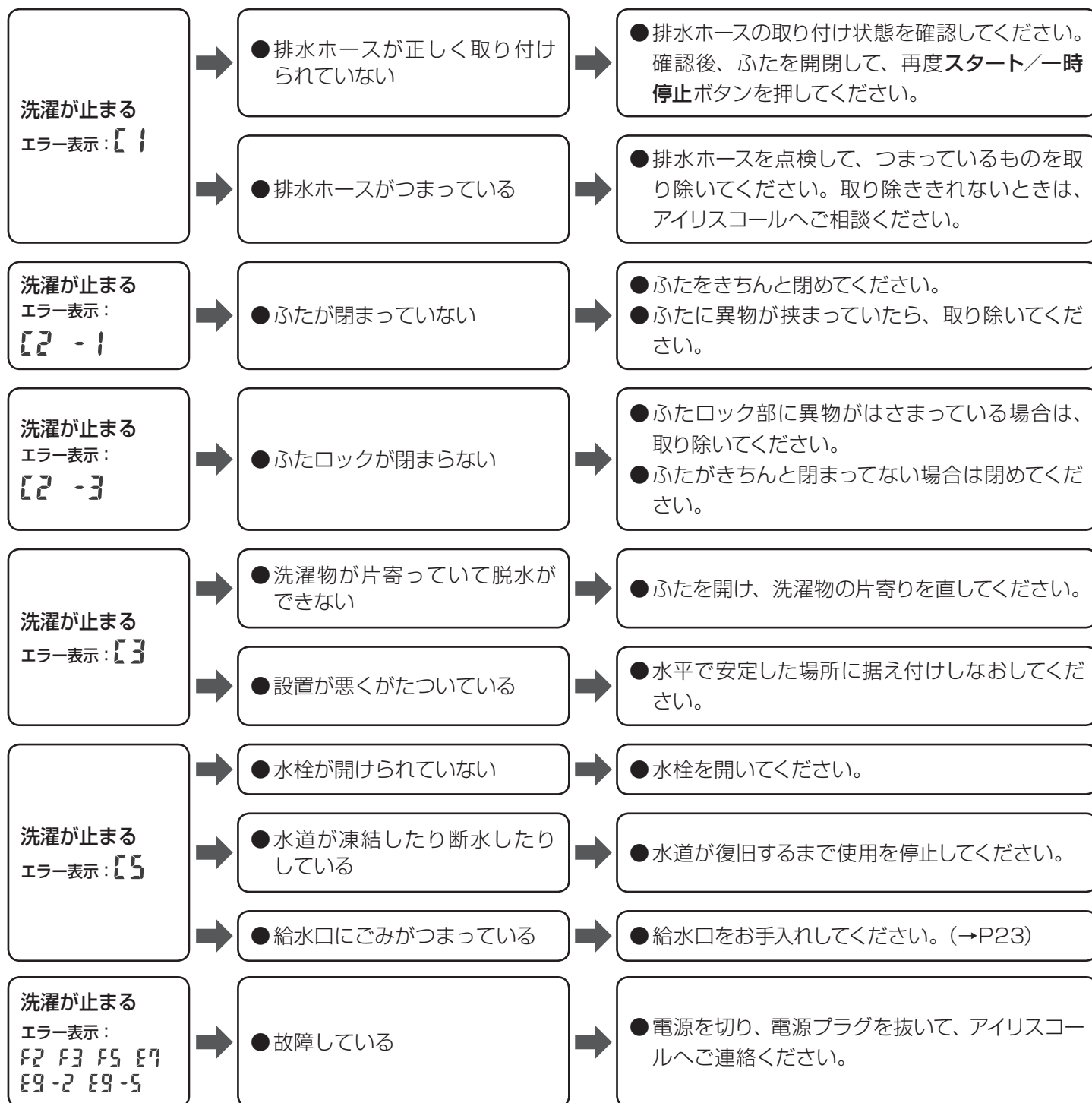
故障かな？と思ったら つづき

電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水もれする	●給水ホースが水栓と確実に接続されていない	●給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)
	●給水ホースのコネクターと水栓が合っていない	●給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)
	●給水ホース付属の継手が確実に水栓に取り付けられていない	●給水ホース付属の継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりネジを締めてください。(→据付説明書)
初めて使用したときに、排水ホースから水が出た	●出荷時の性能テスト時の水が残っていた	●異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中にゴボゴボという音がする	●排水が空気と混ざる音がする	●異常ではありません。
給水されない	●すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水する	●最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。(P18、19)
洗濯の途中で給水される	●洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水する	●故障ではありません。
	●すすぎ中は、給水しながら運転する	●すすぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。故障ではありません。
脱水の途中で給水される	●洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して修正する	●異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する	●洗濯物が片寄っていて脱水できない	●洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
洗濯物の量に水位が合っていない	●軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯した	●洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水に濡れて重くなった衣料などを洗濯するときは、 水位ボタン で水位を変更してください。(→P9)



故障かな？と思ったら つづき





それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造
しないでください。

長期使用製品について

設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る原因になります。

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- 電源ボタンを押しても何も反応しない
- 運転中に異常な音がする
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ この製品の設計上の標準使用期間は、製品本体に表示されています。

■ 設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	
定格電圧	AC 100V	
定格電源周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	245W	300W
標準洗濯容量	5.0kg	
標準脱水容量	5.0kg	
標準使用水量	120L	
標準水量	46L	
防水レベル	IPX4	
運転音 ^{※1}	洗濯	約36dB
	脱水	約51dB
外形寸法	幅555×奥行525×高さ920 mm	
質量	31kg	

※1 (一社) 日本電機工業会 洗濯機性能評価基準による

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

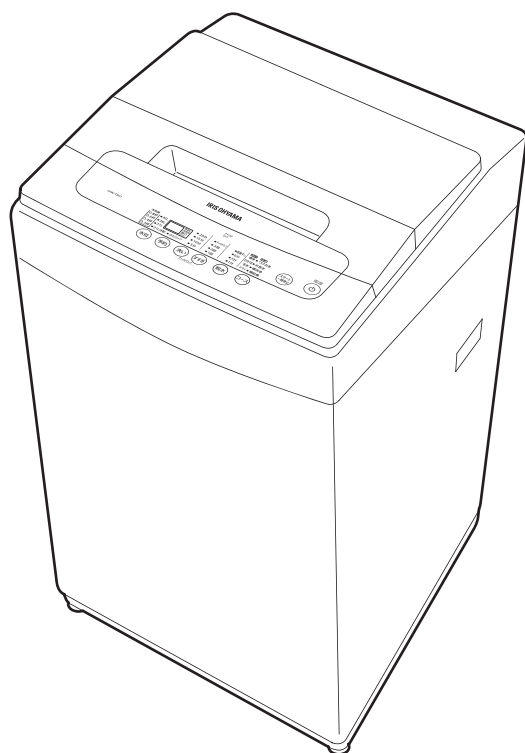
FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください



全自動洗濯機

IAW-T502E / IAW-T501

据付説明書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

本体運搬時の注意.....	1
安全上の注意	2
付属品の確認	3
据え付け関連部品.....	4
据え付け	5

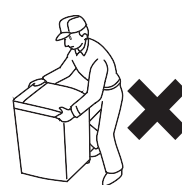
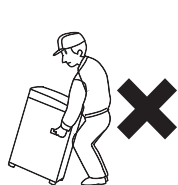
お客様へ

- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。破損・変形のおそれがあります。

- 本体を引きずって移動しないでください。床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

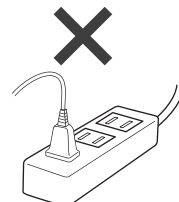
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

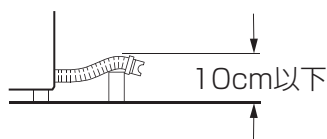
- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときには、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



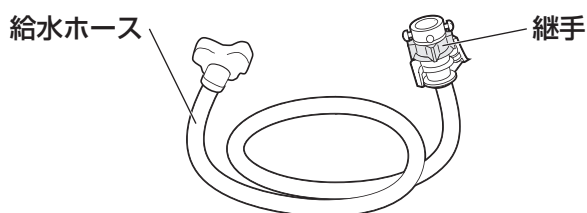
- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
- ニップル付き水栓でない場合は、必ず付属の継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



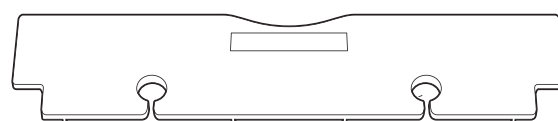
- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認をしてください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。



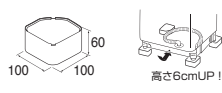
えりそでクリップボード (IAW-T501のみ)



(ふた裏側に収納されています。)

据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下の株式会社三栄水栓製作所のものを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		<ul style="list-style-type: none"> 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 曲げ角度90° 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		<ul style="list-style-type: none"> 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 カップリング水栓用 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		<ul style="list-style-type: none"> 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		<ul style="list-style-type: none"> 全自動洗濯機用ホースの延長用 長さ：1m 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機排水ホースの延長用 長さ：1.5m ホース内径：30mm
洗濯機用 トレイ（全自動用）	PH545-570		<ul style="list-style-type: none"> 材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 洗濯機の振動を抑えます。 耐荷重：150kg（4個使用時） 材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ 有機溶剤を扱う場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ ブロック・角材・れんがの上など、不安定な場所

給水圧の確認

- ・ 接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。

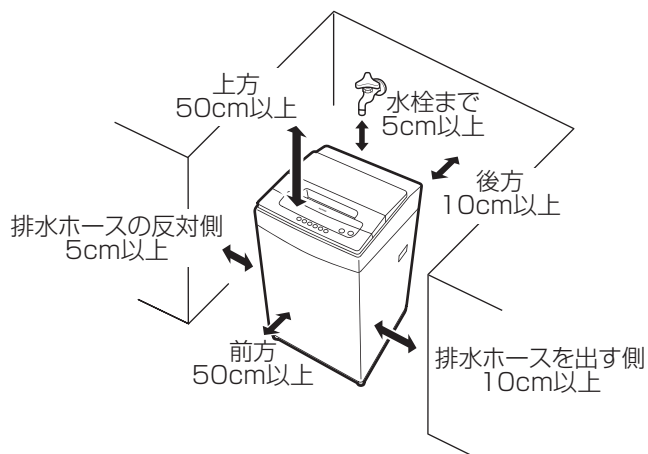
最大許容水圧：0.8MPa

最小許容水圧：0.03MPa

据え付けに必要な寸法の確認

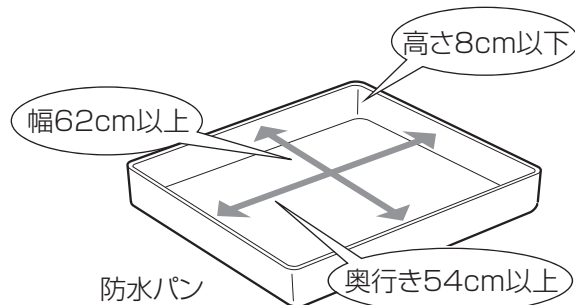
壁から図に示す距離を空ける

- ※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要



- ※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

- ※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。

据え付け つづき

2 排水ホースを排水口に接続する



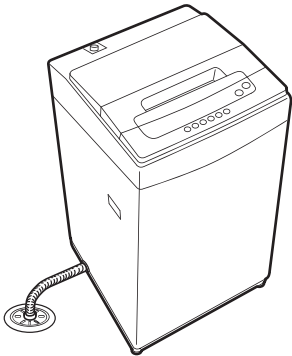
注意

- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

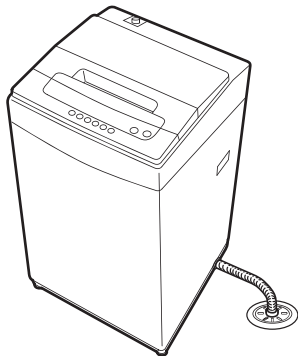
- 排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、高さ調整板を使用して排水口に接続します。

排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるとき
それぞれ下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

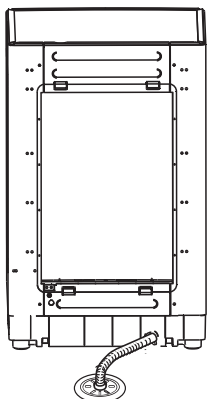
排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき

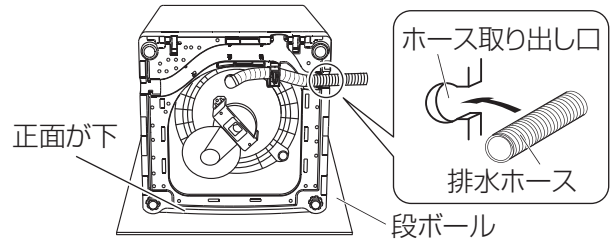


排水口が後ろ側にあるとき



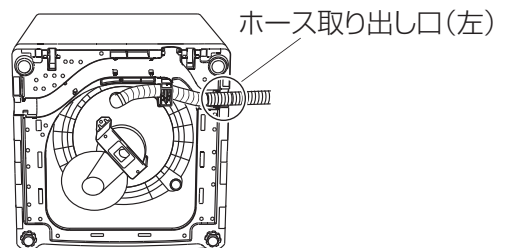
排水ホースの出しかた

① 段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる

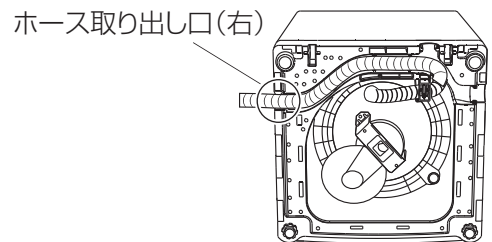


② 排水口の場所に合わせてホースを引き出し、ホース取り出し口のくぼみに入れて固定する

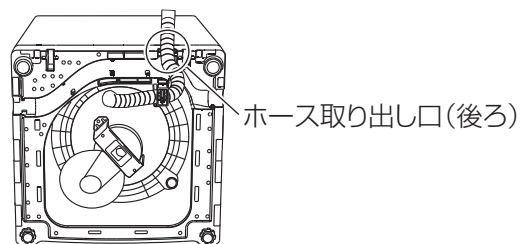
排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき

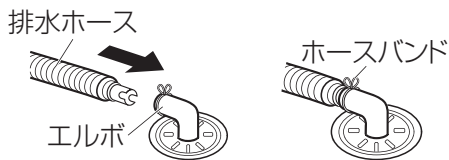


排水口が後ろ側にあるとき

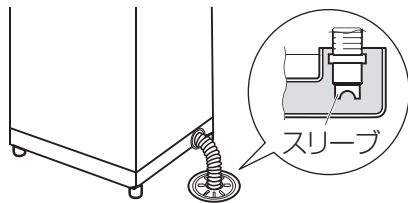


排水口への接続

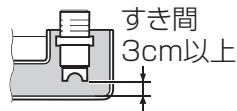
- 排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。
- ※ ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- ※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



- 排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。
- ※ 排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。外さないでください。



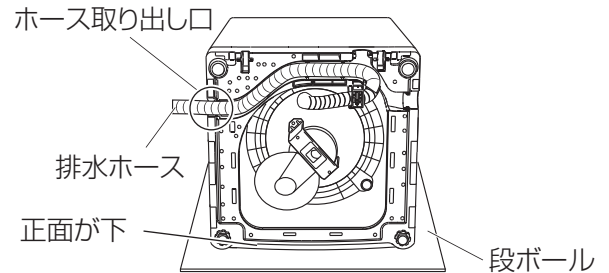
- ※ ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。



排水口が本体の下にあるとき

排水ホースの出しかた

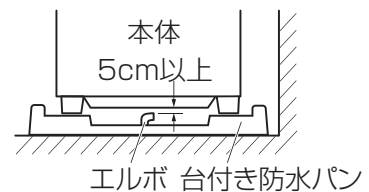
- ①段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる
- ②右側からホースを引き出し、ホース取り出し口のくぼみに入れて固定する



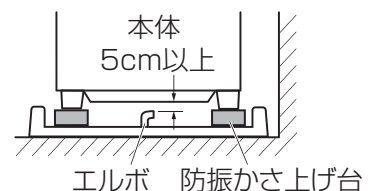
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げ台を使用して高さを調節してください。

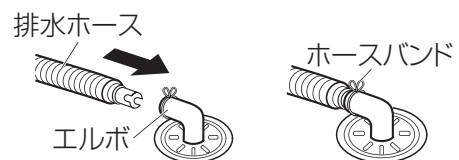
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



- ※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



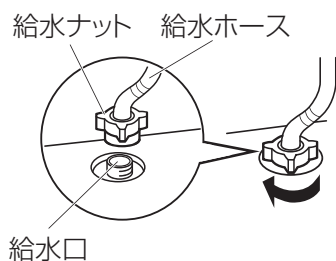
- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

3 給水ホースを本体へ接続する



注意 ●給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。

- ・給水ホースの先に付いているナットを、本体の給水口にかぶせて、ナットを締め込んでください。
- ※ナットは最後まできっちり締めてください。

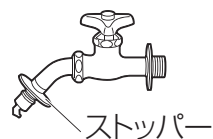


4 給水ホースを水栓に接続する



- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続してください。
- ニップル付き水栓でない場合は、必ず付属の継手を取り付けて接続してください。
- 絶対に給湯器には接続しないでください。

ニップル付き水栓



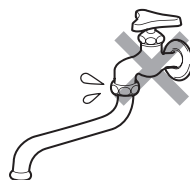
付属の継手を使用して接続できる水栓

横水栓



接続できない水栓

自在水栓



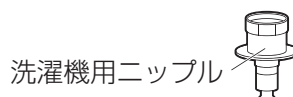
万能ホーム水栓



ワンタッチ給水栓

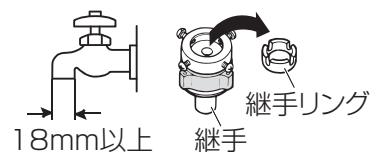


※上記の水栓に接続するときは、市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。(→P4)

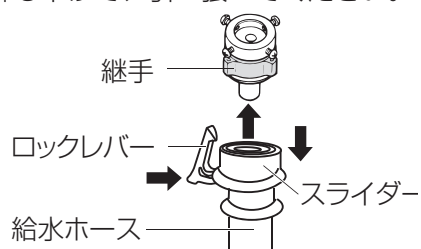


付属の継手の取り付けかた

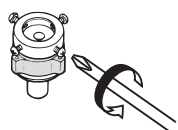
- ①水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外してください。



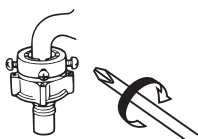
※継手を給水ホースから外すには、給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダを押し下げて、引っ張ってください。



② 継手の4本のねじをゆるめる

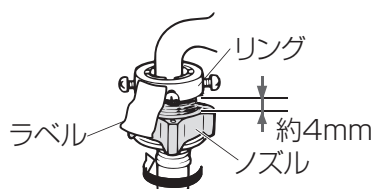


③ 水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



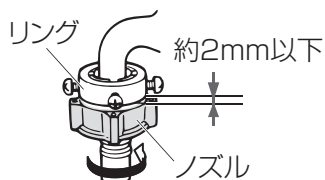
④ 継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす

※ ノズルが回転しないようにラベルが貼り付いています。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。



⑤ ノズルを右に回して締める

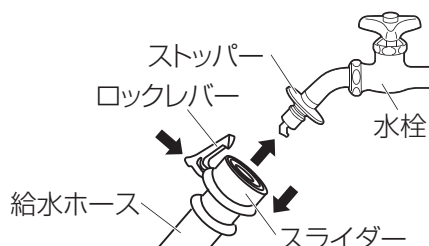
• ノズルとリングの間が2mm以下になるように締めてください。



• 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。

※ 継手のねじやノズルをさらに締めても水もれする場合は、継手を取り替えてください。または、市販の給水栓ジョイントを使用することをおすすめします。

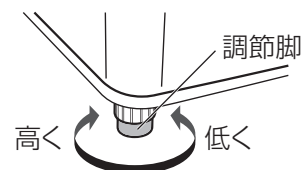
給水ホースは、スライダを押し下げ、パチンとなってロックレバーがストッパーにかかるまで、水栓に押し込む



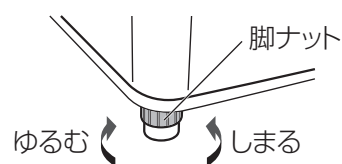
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

5 水平・がたつきの確認をする

左右の調節脚を回して、がたつきがないように調整する



• 調節した後は、調節脚のナットを回して固定してください。

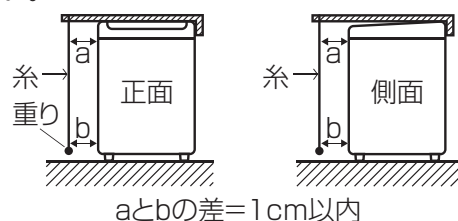


※ 本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



本体が水平になっているか確認する

• 正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



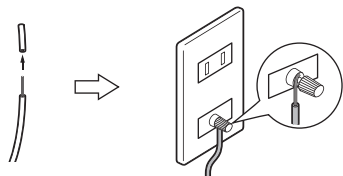
本体の対角線上の角を押し、がたつきがないことを確認する

※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

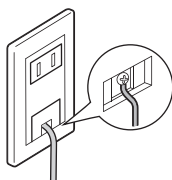
6 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

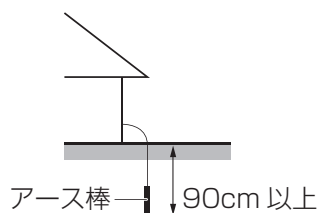


- ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。

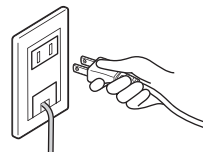


アース棒 90cm 以上



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



警告

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードたばねないで、必ずのぼして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。

8 試運転する

・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、電源ボタンを押して電源を入れ、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、給水が始まります。

3 水位ボタンを押し、一番上の水位を選ぶ

・給水終了後、ふたロックが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。

・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する

・ふたを開けて、ふたロックが解除されることを確認してください。

5 電源ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて脱水ボタンを押し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・ふたがロックされます。

・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。

・約3分間脱水し、異常音・異常振動がないことを確認してください。

・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する

・約60秒でふたロックが解除されることを確認してください。

8 電源ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・ 据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- アース線の接続は確実にを行いました。(感電防止のため、アースは必ず接続してください。)
- 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- 試運転して、にごった水は出ないことを確認しました。
- 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- 排水ホースが10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- 脚ナットをしっかり締めたことを確認しました。(本体底面と脚ナットの間にすき間がないこと)
- 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日: 年 月 日

確認者:

工事(施工)会社名:

問い合わせ先 電話番号:

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは **0800-919-0770**
アイリスコール (通話料無料)
受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料) **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください